

講師プロフィール

白井 千晶(しらい ちあき)さん

静岡大学人文社会科学部教授(家族社会学)、
全国養子縁組団体協議会代表理事、養子と里親を考える会理事・編集委員、日本ファミリーホーム協議会編集委員、「言葉と写真でつむぐフオスター」代表。

フォーラム「新しい絆」とは

＜家族と暮らせない子どもたちに里親家庭を＞の願いを共有した市民と福岡市との共働事業「新しい絆プロジェクト」の一環として、年2回開催しています。実行委員会を「ファミリーシップふくおか」と呼びます。

福岡市では、これまでの市民・行政の共働が大きな力となり、社会的養護の子どものうち、里親家庭で暮らす子どもの割合は50%以上となりました。施設から家庭への転換が国際的に進められていく中で、福岡市のこれまでの取り組みや経験が全国的に注目されています。



福岡アピール「社会全体に広げよう、支えよう、里親と子ども」より

子どもは、家族と離れ、胸いっぱい不安をかかえながら、その人を待っています。里親は、自分の家庭を社会に開き、その子を迎え、深く、温かいふところを抱きとめます。子どもと里親の出会い。地域に支えられ、子どもに愛と希望を取り戻し、生きる力を与える里親のものがたりを、私たちはたくさん経験してきました。

子どもたちが身をもって教えてくれたこと。それは、子どもにとっての「家庭」の大切さ。国連子どもの権利条約はいいます。「子どもは、その人格の完全なかつ調和のとれた発達のため、家庭環境の下で、幸福、愛情及び理解のある雰囲気の中で成長すべきである」と。家庭で暮らすことは、「子どもの権利」なのです。

皆様に呼びかけます。

1. 家族と暮らせなくなった多くの子どもたちのことを、広く社会全体に知らせ、里親への参加を呼びかけましょう。
2. 「子どもと里親」、地域で支援を求めるすべての「子どもと家族」を支えるしくみづくりをめざし、市民、政府・行政、専門家、企業、メディアもつながりあって、協働しましょう。
3. 子どもが大人として社会に巣立っていく道のりを、社会全体で応援しましょう。
4. しきみづくりにあたっては、子どもの意見に耳を傾け、尊重しましょう。

2015年9月「里親推進フォーラムin福岡」でのアピール文の一部です

【参加申込方法】

○専用申込フォームからお申込いただく場合(推奨)

右のQRコードを読み取ると、参加申込フォームが表示されます。

そちらから情報を入力・送信ください。

または、子どもNPOセンター福岡のHPからもお申込いただけます。

○申込フォームでのお申込ができない場合

info@npoccf.jpまで、メールにて以下の必要事項をお送りください。

または、下の欄にご記入の上FAXでもお申込いただけますが、メールアドレスの転記ミス等防止のため、可能な限りメールでのお申込をおすすめいたします。

申込フォームQRコード

※子どもNPOセンター福岡のHPからもお申込みできます。



(ふりがな)

お名前

ご住所 〒

TEL /

E-mail

所属

今後フォーラム等のお知らせ(メール)を希望 する しない

お問い合わせ
申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡

TEL050-1743-5971 FAX050-3512-4545 E-Mail info@npoccf.jp ホームページ <https://npoccf.jp>